

施設・ 事業紹介

広報委員会では病院間の連携を深めるため、施設・事業紹介のページを作りました。施設の取り組みを知っていただき、連携に繋がればと期待しています！

京都保健衛生専門学校 看護学科三年課程 姫田 真弓

「おかえりなさい」～ホームカミングデイより～

本校は京都の中心部、二条城の傍に位置し、今年で開校 61 周年を迎える京都保健衛生専門学校です。看護学科・臨床検査学科・臨床工学技士専攻科の 3 つの学科の学生が日々学ぶ、歴史ある専門学校です。

看護学科では 2025 年 8 月 5 日（火）、この春、看護師として本校を巣立っていった卒業生を対象にホームカミングデイを開催しました。今年は 18 名の卒業生が約 4 か月ぶりに 3 年間学んだ教室に集い久々の再会をしました。クラスメイトの顔を見るや否や学んでいたころのように教室には笑顔に溢れ、一瞬で賑やかになりました。

ホームカミングデイの第一部では、本校を卒業した 2 年目・3 年目の先輩ナース 2 名を迎え『先輩から、これからの乗り越え方を学ぼう』と題し、先輩たちがどのように 1 年目を乗り越えてきたのか、どの様に看護師という仕事に向き合い、乗り越えてきたのかを語って頂きました。卒業生たちはみな先輩達の話しに共感しながら聞いていました。また質問の時間では、「どのように勉強していたか」、「こんな時はどうすれば」といったような質問が出され、具体的なアドバイスを先輩達から聞くことが出来ました。先輩たちの話を聞いた卒業生からは、

「みんな通る道で、みんな悩みながら成長していくのだと思えました。精進していきたいです。」

「先輩の 1 年目の時の悩みが今の自分の悩みと一緒の所が多く、話を聞けていい機会になったと感じました。アドバイスも色々聞けたので今後に活かしたいと思いました。」

「自分の感じていることを先輩も感じていたのだなと思えて安心しました。」といった声が聞かれました。

第二部では、『同級生や教員と互いの近況や思いを語り、気持ちをリラックス & リフレッシュして、元気に職場に戻ろう』と題し、卒業生それぞれの配属部署や今どのように頑張っているのかなど近況を語り合いました。それぞれの語りを聞き学生からは、

「みんな同じような悩みや不安を持って働いているからこそ自分もがんばろうと思えた。」

「みんなそれぞれ頑張っていると励まされました。もっと自分も勉強しようと思いました。」

「みんなそれぞれ悩みや不安がある中で頑張っていることを知り、とてもいい時間になりました。」といった感想が聞かれ、互いの語りを聞くことで、刺激しこれからの励みになる時間になったようでした。また、ホームカミングデイに出席した全員が参加して良かったと感じ、「先輩の話も聞け、クラスメイトと同じ悩みがあるのが分かって、少し安心できたし勇気が出ました。どんどん先輩に相談していいと思え、気持ちが楽になりました。」

「顔を見て話すだけでも元気が出た。」とそれぞれの明日へと繋がるいい機会となり、ホームカミングデイが卒業生にとって有意義なものであることを再認識しました。

そして、卒業生の笑顔と元気な姿、語りを聞き成長している卒業生と一緒に時間を過ごせたことで教員も沢山元気をもらいました。そして、これからも看護基礎教育に励みたいと思う充実した 1 日となりました。

